



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

東

上場会社名 株式会社テクノスジャパン

上場取引所

コード番号 3666

URL <http://www.tecnos.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 城谷 直彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小林 希与志

(TEL) 03-3374-1212

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,975	△0.7	122	△23.7	129	△22.3	81	△23.9
26年3月期第2四半期	1,990	△8.3	160	△47.3	166	△45.5	106	△44.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 81百万円(△23.9%) 26年3月期第2四半期 106百万円(△44.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	15.90	—
26年3月期第2四半期	20.90	—

(注) 当社は、平成26年1月25日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,710	3,215	86.7
26年3月期	3,901	3,287	84.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,215百万円 26年3月期 3,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 26年3月期期末配当には設立20周年記念配当5円を含んでおります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,443	6.3	419	7.5	429	5.5	264	8.5	51.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	5,100,000株	26年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	225株	26年3月期	225株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	5,099,775株	26年3月期2Q	5,099,879株

(注) 当社は平成26年1月25日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数 (四半期累計) を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済財政政策や日銀の金融緩和政策などの効果により、円安・株高傾向が続き、企業収益や設備投資の改善、雇用情勢の好転など、全体的に緩やかな景気回復が続きました。しかしながら、新興国経済の停滞をはじめ世界経済の下振れリスクや、消費税増税、ガソリン価格の高騰、電気・ガス料金等の値上げに伴う景気の停滞感が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、クラウドサービス・ビッグデータ関連ビジネスの市場拡大など、業界全体としては追い風とも言える事業環境になりつつあります。当社グループの主力事業であるERP導入業務におきましても、企業収益の改善に伴うITへの投資意欲回復により改善されてくるものと予想する一方、顧客からの短納期化、低コストかつ高品質化への要求は更に高まっており、受注競争も激しさを増しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ビッグデータ関連の市場拡大を背景に、将来的な事業拡大・収益貢献を見据えた人材の採用を積極的に行うとともに、多様化する顧客ニーズに対応するべく社員の人間力・技術力の向上に努めてまいりました。また、既存顧客の深耕およびセミナー開催やイベントへの出展を積極的に行い、新規顧客の開拓にも注力いたしました。しかしながら、当初計画に織り込んでいた大型案件の延期などがあり、厳しい受注状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,975,547千円（前年同期比0.7%減）、営業利益122,447千円（同23.7%減）、経常利益129,564千円（同22.3%減）、四半期純利益81,070千円（同23.9%減）となりました。

業務区分別の業績については次のとおりであります。

a 基幹システム及び周辺ソリューション

製造業、商社・小売業向けのERPシステム導入支援業務を中心に、売上高は1,951,365千円（前年同期比1.3%減）となりました。

b その他

ライセンス販売等により、売上高は24,182千円（前年同期比95.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ190,337千円減少し3,710,903千円となりました。これは主に現金及び預金が163,203千円、売掛金が30,763千円、有形固定資産が50,416千円増加し、有価証券が400,942千円、敷金及び保証金が45,734千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ118,413千円減少し495,137千円となりました。これは主に未払法人税等が66,031千円、未払消費税等が25,090千円、買掛金が19,472千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ71,923千円減少し3,215,765千円となりました。これは主に利益剰余金が71,923千円減少したことによるものであります。

④キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ163,203千円増加し、1,088,747千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、44,740千円の減少(前年同四半期連結累計期間は96,731千円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益130,142千円に対し、主に法人税等の支払額94,156千円、売上債権の増加額30,763千円、仕入債務の減少額19,472千円、その他の負債の減少額23,996千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、365,647千円の増加(前年同四半期連結累計期間は62,353千円の増加)となりました。これは主に有価証券への償還額400,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、157,703千円の減少(前年同四半期連結累計期間は170,098千円の減少)となりました。これは主に配当金の支払額151,833千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも当初計画を下回る結果となりました。平成27年3月期の連結業績予想につきましては現時点におきましては平成26年10月24日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,543	1,488,747
売掛金	952,821	983,585
有価証券	701,172	300,230
仕掛品	3,948	14,024
貯蔵品	1,938	1,662
前払費用	39,194	36,883
繰延税金資産	46,759	32,145
その他	15,012	24,011
流動資産合計	3,086,392	2,881,290
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	71,326	99,156
減価償却累計額	△45,218	△31,937
建物附属設備(純額)	26,107	67,219
工具、器具及び備品	36,629	33,482
減価償却累計額	△30,899	△26,302
工具、器具及び備品(純額)	5,730	7,179
建設仮勘定	—	7,855
有形固定資産合計	31,837	82,254
無形固定資産		
ソフトウェア	11,113	6,376
ソフトウェア仮勘定	23,208	32,829
その他	73	36
無形固定資産合計	34,395	39,242
投資その他の資産		
投資有価証券	410,000	410,000
関係会社株式	20,090	20,090
長期前払費用	35,783	33,212
繰延税金資産	52,229	47,607
敷金及び保証金	204,622	158,888
保険積立金	15,292	22,171
その他	10,596	16,144
投資その他の資産合計	748,614	708,115
固定資産合計	814,847	829,612
資産合計	3,901,240	3,710,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,539	106,067
未払金	42,322	26,354
未払費用	36,132	37,233
未払法人税等	98,787	32,756
未払消費税等	53,077	27,986
品質保証引当金	42,218	45,044
受注損失引当金	9,355	234
賞与引当金	12,174	21,991
資産除去債務	17,640	-
その他	33,954	34,758
流動負債合計	471,202	332,425
固定負債		
長期未払金	127,732	125,504
繰延税金負債	-	35
資産除去債務	14,616	37,171
固定負債合計	142,349	162,712
負債合計	613,551	495,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	212,520	212,520
利益剰余金	2,512,807	2,440,884
自己株式	△159	△159
株主資本合計	3,287,688	3,215,765
純資産合計	3,287,688	3,215,765
負債純資産合計	3,901,240	3,710,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,990,023	1,975,547
売上原価	1,392,394	1,389,283
売上総利益	597,629	586,264
販売費及び一般管理費	437,136	463,816
営業利益	160,493	122,447
営業外収益		
受取利息	892	605
有価証券利息	3,482	4,501
その他	1,835	2,010
営業外収益合計	6,211	7,117
経常利益	166,704	129,564
特別利益		
保険解約返戻金	13,432	1,491
特別利益合計	13,432	1,491
特別損失		
固定資産除却損	2,777	714
保険解約損	2,122	199
特別損失合計	4,900	913
税金等調整前四半期純利益	175,236	130,142
法人税、住民税及び事業税	71,636	29,801
法人税等調整額	△2,989	19,270
法人税等合計	68,646	49,072
少数株主損益調整前四半期純利益	106,590	81,070
少数株主利益	-	-
四半期純利益	106,590	81,070

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106,590	81,070
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益	106,590	81,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,590	81,070
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,236	130,142
減価償却費	12,028	10,536
保険解約損	-	199
品質保証引当金の増減額(△は減少)	10,641	2,825
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△870	△9,121
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,457	9,816
受取利息	△4,375	△5,106
固定資産除却損	2,777	714
売上債権の増減額(△は増加)	△591	△30,763
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,807	△9,799
仕入債務の増減額(△は減少)	34,876	△19,472
未払金の増減額(△は減少)	△33,147	△7,624
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,344	△4,047
その他の負債の増減額(△は減少)	16,611	△23,996
小計	207,492	44,303
利息及び配当金の受取額	3,035	5,112
法人税等の支払額	△113,796	△94,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,731	△44,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	-
有価証券の取得による支出	△301,223	-
有価証券の償還による収入	400,000	400,000
投資有価証券の取得による支出	△200,075	-
子会社株式の取得による支出	△20,090	-
有形固定資産の取得による支出	△231	△34,638
無形固定資産の取得による支出	-	△14,770
資産除去債務の履行による支出	-	△17,340
敷金及び保証金の差入による支出	△1,280	△223
敷金及び保証金の回収による収入	-	45,696
保険積立金の積立による支出	△7,780	△7,509
保険積立金の解約による収入	15	431
その他	△6,980	△6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,353	365,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△169,164	△151,833
長期未払金の返済による支出	△775	△5,869
自己株式の取得による支出	△159	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,098	△157,703
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,013	163,203
現金及び現金同等物の期首残高	946,653	925,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	935,640	1,088,747

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、情報システムソリューションサービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。